

各 位

会社名 双 信 電 機 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 杉 山 雅 彦
 (コード番号: 6938 東証スタンダード)
 問合せ先 取締役 経営推進本部長 中 西 港 二
 (TEL: 03-5730-4500)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年11月14日に公表した業績予想と2022年10月31日に公表した配当予想を修正しましたので、お知らせします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年12月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	500	600	277	16.20
今回修正予想(B)	9,450	350	500	30	1.75
増減額(B-A)	△50	△150	△100	△247	—
増減率(%)	△0.5	△30.0	△16.7	△89.2	—
(ご参考)前期第3四半期実績 (2022年3月期第3四半期)	8,868	917	959	869	54.71

(注) 当期は決算期の変更により2022年4月1日から2022年12月31日の9ヵ月ですので、上記実績は前期第3四半期の実績を記載しています。

2. 業績予想の修正理由

売上高は堅調な半導体製造装置や工作機械市況を背景にノイズフィルタが増加しますが、積層誘電体フィルタでは、市場は拡大しているもののメイン市場である新規格Wi-Fi市場の主要顧客が、半導体不足の影響による突発的な在庫調整を実施したことにより、第3四半期後半に予定していた出荷が来年へ繰り延べられることなどで減少し、全体でも売上高が減少する見通しです。

利益は主に売上高の製品構成変化により減少する見通しです。売上高が増加するノイズフィルタの利益は、為替レートの円安影響による海外グループ会社からの製品輸入コスト増により低調に留まる一方で、円安メリットを享受できる新規格Wi-Fi用積層誘電体フィルタの輸出売上高が減少することが主な要因です。これらの結果、通期の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回予想を下回る見込みとなりました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、米国フィルムコンデンサ取引に関する民事訴訟の弁護士報酬等の増加と、税効果会計に係る繰延税金資産の回収可能性等を勘案し法人税等調整額の計上額が増加する見込みのため、営業利益、経常利益に比べ減益額が大きくなっています。

3. 配当予想の修正内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前 回 予 想	5円	2.5円	7.5円
今 回 修 正 予 想		2円	7円
当 期 実 績	5円		
(ご参考) 前期実績(2022年3月期)	4円	4円	8円

(注) 当期は決算期の変更により2022年4月1日から2022年12月31日の9ヵ月ですので、年間配当金は9ヵ月間に対応した金額になっています。

4. 配当予想の修正理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つと位置づけたうえで、今後の業績動向や事業展開などを総合的に勘案して、継続的に安定した配当を実施することを基本方針としています。

中間配当金は1株当たり5円で決定しましたが、今回の連結業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想は1株当たり0.5円減配の2円とし、通期で1株当たり7円とさせていただきます。

(注記)

業績予想は、現時点で得られた情報にもとづいて算定していますが、多分に不確定な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果となりうることをご承知おき下さい。

以 上